

令和5年度公益財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	<p>1 講習会活動事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行されたことで、平常時に近い啓発活動を実施することができた。</p> <p>(1) 犬のしつけ方教室 犬のしつけ方について学んでもらい、基礎的なしつけ方のトレーニングを飼い犬とともに学んでもらった。 飼い主と飼い犬の良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬の育成を図った。</p> <p>(2) 犬・猫の飼い方講習会 飼育する場合の決まり事及び適正な飼育方法等について学習してもらい、飼い主と飼い犬・猫との良好な関係を保つこと、地域の人達に親しまれる犬・猫を育成することの大切さを伝え、適正な飼養の普及を図った。</p> <p>2 動物愛護推進事業</p> <p>(1) 動物とのふれあい教室 実際に動物に接することによって、体感をとおして、生き物のぬくもりやおもちゃとの違い、生き物の命の大切さを知ってもらい、動物愛護の啓発を行った。 予約なしの来場者に対しては、ウサギ・モルモットへの餌やり体験を中心に実施した。</p> <p>(2) 犬・猫の譲渡会 収容された犬・猫で飼い主のわからなかったものについて、人の社会に順応できる犬・猫になるよう社会化を行い、事前に講習会を受講し、譲渡条件に合う希望者に譲渡した。</p> <p>(3) 動物愛護週間関連事業 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、倉敷、赤磐、高梁、井笠、真庭の各地区において、獣医師会等との共催により、写真、パネル展示等を中心とした催しを行った。一部では犬のしつけ方教室、相談コーナー等が開設された。</p> <p>(4) ボランティアの募集及び育成・管理 ボランティア（ボランティア犬飼い主を含む）を希望する個人及び団体を募集した。趣旨に賛同する者に対してオリエンテーションを行い、ボランティア登録を行った。また、登録者に対しては研修会を開催した。</p> <p>(5) 北広場（ドッグラン）の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。</p> <p>(6) 親子向けイベントの開催 5月、8月に親子向けの物作り及び動物について学べる催しを開催した。</p> <p>(7) 譲渡犬の里帰り交流会 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催した。</p> <p>(8) 譲渡猫写真展の開催 譲渡猫の愛されている様子の写真を通して、動物愛護の啓発を行った。</p> <p>(9) 公開セミナー 「高齢犬との暮らしと最後の別れ PART2」と題してペットロス等について外部講師を招いてセミナーを開催した。</p> <p>3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。</p> <p>4 広報活動</p> <p>(1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を図った。</p> <p>(2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資料、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、犬・猫の飼い方講習会、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。</p> <p>(3) ホームページの拡充 各種イベントの案内、犬・猫の譲渡に関する情報等の提供を行った。</p> <p>(4) 広報紙の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行し、岡山県各出先機関、市町村及び関係機関等に配付した。</p>	27,650,161

2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図った。	1,684,478
3 相談事業	1 電話・メール等による「動物なんでも相談」を行った。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発 動物愛護センターへ搬入される犬・猫の絶対数の減少に努めるとともに、不妊去勢手術を奨励し、動物愛護思想の啓発を行った。	375,802
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養にかかる調査研究のため、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資材については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行った。	517,891
5 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行った。	74,790
6 財団法人の 管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。	1,632,039
合 計		31,935,161

## 貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	5 年 度	4 年 度	増 減
<b>資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	9,712,001	9,978,238	△ 266,237
前払利息	108,657	108,657	
商品	172,291	161,266	11,025
流動資産合計	9,992,949	10,248,161	△ 255,212
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
投資有価証券	99,908,000	99,908,000	
定期預金	92,000	92,000	
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	
<b>(2) 特定資産</b>			
普通預金	8,081,228	3,165,963	4,915,265
特定資産合計	8,081,228	3,165,963	4,915,265
<b>(3) その他固定資産</b>			
什器備品	3,147,020	3,147,020	
什器備品減価償却累計	△ 2,921,265	△ 2,717,103	△ 204,162
電話加入権	30,000	30,000	
投資有価証券	18,163,980	18,163,980	
その他固定資産合計	18,419,735	18,623,897	△ 204,162
固定資産合計	126,500,963	121,789,860	4,711,103
資産合計	136,493,912	132,038,021	4,455,891
<b>負債の部</b>			
<b>3. 流動負債</b>			
未払金	1,163,530	1,131,218	32,312
流動負債合計	1,163,530	1,131,218	32,312
負債合計	1,163,530	1,131,218	32,312
<b>正味財産の部</b>			
<b>4. 指定正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	
<b>5. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	35,330,382	30,906,803	4,423,579
正味財産合計	0	0	0
正味財産合計	135,330,382	130,906,803	4,423,579
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>136,493,912</b>	<b>132,038,021</b>	<b>4,455,891</b>

## 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	5 年 度	4 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益	400,001	400,001	
基本財産受取利息	400,001	400,001	
ロ 受取会費	2,051,000	2,053,000	△ 2,000
正会員受取会費	1,281,000	1,323,000	△ 42,000
特別会員受取会費	770,000	730,000	40,000
ハ 事業収益	89,250	107,890	△ 18,640
販売品収益	89,250	107,890	△ 18,640
ニ 受取補助金等	27,840,000	27,740,000	100,000
受取地方公共団体受託金	27,840,000	27,740,000	100,000
ホ 受取寄附金	5,888,310	703,610	5,184,700
受取寄附金	5,888,310	703,610	5,184,700
ヘ 手数料		6,300	△ 6,300
手数料		6,300	△ 6,300
ト 雑収益	90,179	90,179	
受取利息	90,179	90,179	
経常収益計	36,358,740	31,100,980	5,257,760
(2) 経常費用			
イ 事業費	30,228,332	29,008,701	1,219,631
給料手当	11,799,615	13,156,750	△ 1,357,135
臨時雇賃金	3,819,850	3,095,900	723,950
福利厚生費	2,724,035	2,835,921	△ 111,886
教材費	160,737	189,787	△ 29,050
需用費	87,170	115,384	△ 28,214
諸謝金	33,200	38,700	△ 5,500
助成費	457,000	447,000	10,000
消耗品費	2,058,637	1,353,034	705,603
印刷製本費	4,217,916	3,539,380	678,536
旅費交通費	23,500	11,950	11,550
通信運搬費	1,486,552	1,219,325	267,227
役務費	481,080	396,400	84,680
租税公課	1,309,000	1,345,000	△ 36,000
賃借料	713,496	417,332	296,164
保険料	142,590	158,170	△ 15,580
負担金	520,000	520,000	
減価償却費	193,954	168,668	25,286
ロ 管理費	1,706,829	1,640,805	66,024
給料手当	688,000	672,000	16,000
福利厚生費	99,284	99,314	△ 30
需用費	216,720	222,228	△ 5,508
旅費交通費	84,240	56,440	27,800
役務費	476,225	469,164	7,061
会議費	1,892	2,150	△ 258
印刷製本費	38,720	18,700	20,020
渉外費	7,950		7,950
減価償却費	10,208	8,877	1,331

科 目	5 年 度	4 年 度	増 減
販売品仕入費	74,790	83,982	△ 9,192
雑費	8,800	7,950	850
経常費用計	31,935,161	30,649,506	1,285,655
当期経常増減額	4,423,579	451,474	3,972,105
2. 経常外増減の部			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
指定正味財産への振替額		△ 100,000,000	100,000,000
当期一般正味財産増減額	4,423,579	△ 99,548,526	103,972,105
一般正味財産期首残高	30,906,803	130,455,329	△ 99,548,526
一般正味財産期末残高	35,330,382	30,906,803	4,423,579
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額		100,000,000	△ 100,000,000
当期指定正味財産増減額		100,000,000	△ 100,000,000
指定正味財産期首残高	100,000,000		100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	135,330,382	130,906,803	4,423,579

令和6年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 ・(1) 犬のしつけ方教室を開催する。 ・(2) 犬・猫の飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護推進事業 ・(1) 動物ふれあい教室を開催する。 ・(2) 犬・猫の譲渡会を開催する。 ・(3) 動物愛護週間事業を開催する。 ・(4) ボランティアの募集及び育成・管理を行う。 ・(5) ドッグランの利用を促進する。 ・(6) 親子を対象とした物づくり教室等を開催する。 ・(7) 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催する。 ・(8) 譲渡猫写真展を開催する。 ・(9) 犬・猫の終生飼養の必要性等を説いた公開セミナーを開催する。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 4 広報活動 ・(1) 犬・猫の正しい飼育管理等の啓発資材を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 ・(2) ホームページを拡充し、各種イベントの案内・申込み、各種情報の授受を行う。 ・(3) 定期広報誌を発行する。	26,600
2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図る。	3,019
3 相談事業	1 「動物なんでも相談」事業を実施する。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発を行う。	403
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のために、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資材については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行う。	637
収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	100
6 公益財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	1,766
	合 計	32,525

令和6年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 収支予算書

(単位：千円)

科 目	6年度	5年度	増△減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	400	400	
ロ 受取会費			
正会員受取会費	1,300	1,300	
特別会員受取会費	700	700	
ハ 事業収益			
販売収益	100	130	△ 30
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	28,340	27,840	500
ホ 受取寄附金			
受取寄附金	500	400	100
手数料			
ヘ 雑収益			
受取利息	90	90	
経常収益計	31,430	30,860	570
(2) 経常費用			
イ 事業費			
給料手当	11,790	12,321	△ 531
賃借金	3,960	2,891	1,069
福利厚生費	2,700	2,582	118
教材費	190	190	
需用費	120	120	
研修費	80	80	
諸謝金	100	50	50
助成費	840	740	100
消耗品費	1,650	1,800	△ 150
備品費	100	100	
印刷製本費	3,490	4,090	△ 600
旅費交通費	80	120	△ 40
通信運搬費	1,840	1,680	160
役務費	710	500	210
租税公課	1,400	1,400	
賃借料	850	600	250
保険料	150	130	20
負担金	520	520	
減価償却費	90	194	△ 104
ロ 管理費			
給料手当	707	688	19
福利厚生費	103	103	
需用費	100	150	△ 50
旅費交通費	190	160	30
役務費	480	450	30
備品費	100	100	
租税公課	10	10	
会議費	20	20	
印刷製本費	30	30	
渉外費	20	20	
減価償却費	5	10	△ 5
雑費	100	150	△ 50
経常費用計	32,525	31,999	526
当期経常増減額	△ 1,095	△ 1,139	44
当期一般正味財産増減額	△ 1,095	△ 1,139	44
一般正味財産期首残高	29,768	30,907	△ 1,139
一般正味財産期末残高	28,673	29,768	△ 1,095
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	
正味財産期末残高	128,673	129,768	△ 1,095